

市の宣言

- 男女平等参画都市宣言
- 非核平和都市宣言
- 青少年健全育成都市宣言
- 交通安全都市宣言

鶴見川は町田市上小山田を源とし、横浜市鶴見区生麦で東京湾へと注ぐ全長42.5kmの一級河川です。同流域は、昭和40年代からの急速な都市化の進展により、浸水被害などが頻発し、水を取りまく環境は悪化してきました。昭和50年代からは総合治水が全国に先駆けて始められ、強力な取

り組みが行われてきました。そして、これまでの取り組みの中でさらなる安全、安心、自然との共存、都市・地域の再生など、水循環に関する新たな課題が顕在化しています。今後は、流域の視野で新しい枠組みと多様な連携・協働のもとにこれらの課題を解決する必要があります。そこで、河川管理者と流域自治体により、鶴見川流域における水循環系の健全化を図るため、河川の水循環の改善、緑地等自然環境の保全、水とのふれあい促進、防災・減災など、様々な課題を流域再生という視点から取り組む「鶴見川流域水マスタープラン」が策定されました。これに併せて8月28日、神奈川県民共済みらいホールで「鶴見川流域水マスタープラン推進宣言式

いのちと暮らしを地球につなぐ 鶴見川流域再生ビジョン

鶴見川流域 サミットが 開催されました

典(鶴見川流域サミット)が行われました。式典では、神奈川県知事、東京都知事(代理)、横浜市長、川崎市市長、町田市市長という流域各自治体首長が一同に会し、今後の推進に向けたメッセージを発表するとともに、推進宣言書に調印しました。



町田市は鶴見川流域と境川流域に属していますが、同プランの考え方を今後の水行政に反映させて行きます。同プランは図書館、市政情報室で閲覧できます。また、国土交通省京浜河川事務所ホームページ([http://www.keihin.ktr.mlit.go.jp/index_top.html](http://www.keihin.ktr.mlit.go.jp/in dex_top.html))でもご覧いただけます。問水道総務課 720・1811



~おもいやり 人に車に この街に~

【推進重点】
一、二輪車による交通事故の防止
市内の自動車・原動機付自転車を当事者とする上半期の交通人身事故は495件発生し、全発生件数の約34%を占めています。負傷者は439人で、その内1人の尊い命が失われています。二輪車事故を防ぐための安全走行として、一時停止と徐行、安全な速度と車線を守った安全走行、交差点内の右折車両に注意した走行カーブ手前での減速、を心掛けましょう。
二、高齢者の交通事故防止
高齢者の方を当事者とする交通人身事故は284件発生し、全発生件数の約18%を占めています。横断禁止場所の横断や、車の直前直後の横断は大変危険ですから近くの横断歩道を渡りましょう。

また、横断歩道を渡る時は余裕を持って渡り、信号が点滅したら次の信号まで待ちましょう。
三、夕暮れどきの交通事故防止
市内では午後4時~6時に230件の交通事故が発生しています。夕暮れどきの事故防止のため、車両等のドライバーは前照灯を早めに点灯する「トワイライト・オン運動」を実践して下さい。また歩行者・自転車の方は、車両から目立つように明るい色の服や反射材を着用して下さい。
四、シートベルトとチャイルドシートの正しい着用
時速40kmで衝突すると体重の約30倍の力が加わります。運転席・助手席はもちろん、後部座席でも正しくシートベルトを着用して、自分の命や大切な人の命を守りましょう。チャイルドシートは乳児・幼児・学童用があります。子どもの年齢・体格に合ったものを使用しましょう。
町田警察署 722・0110
問交通安全課 724・1136

国際版画美術館

中国から日本へ、 海をこえた版の技と美 江戸の版画芸術展

—黄檗美術と江戸の版画—



詩箋(祇園寺所蔵)

黄檗宗とは、江戸時代になって新たに日本に伝わった禅宗一派です。中国僧・隠元隆琦は承応3年(1654)に来日、寛文元年(1661)には京都の宇治に萬福寺を建て、日本の黄檗宗の拠点となりました。黄檗宗の伝来は、江戸時代の日本が最新の中国文化を受容する契機となりました。美術の分野も例外ではありません。西洋画法をとり入れた写実的な描写スタイルや、赤、青、緑などの濃厚な彩色をほどこした肖像画や羅漢図は、江戸の絵画様式に大きな影響を与えました。

【学芸員によるギャラリー・トーク】
日時 10月11日(祝)、11月3日(祝)、7日(日)午後2時から
会場 同館企画展示室1・2
会期 10月2日(土)~11月23日(祝)月曜休館 ただし、10月11日(祝)は開館、12日(火)は休館
観覧料 一般600円、大学・高校生400円、65歳以上の方300円、小・中学生無料
初日(10月2日)、文化の日(11月3日)は無料。

【同時開催 版画いろいろ+特集「フローラの神殿」】
19世紀初頭につくられた手の込んだ多色刷銅版画による、美しい花々をお楽しみ下さい。
会場 同館常設展示室
会期 9月25日(土)~12月23日(祝)
観覧料 無料

【第一部「黄檗美術と詩箋」】
黄檗僧によって舶載された詩箋に重きをおき、萬福寺をはじめとする黄檗宗寺院、曹洞宗寺院ですがやはり中国僧の建立である水戸市の祇園寺などの所蔵作品を紹介いたします。
【第二部「当館収蔵 江戸時代の浮世絵」】
当館では1987年の開館以来、浮世絵を継続的に収集してきました。コレクションの中心は、江戸時代後期から明治期の作品です。そのうち江戸期の浮世絵には、葛飾北斎、三代歌川豊国、歌川国芳、月岡芳年らの優れたシリーズ作品が含まれています。これらの浮世絵から約200点を選び、江戸の粋の世界を味わっていただきます。
会期中、展示替えを行います。

今年も芸術を通して人々の交流の輪を広げることを目的に、国際版画美術館と同館友の会が共催しておこないます。
10月16日(土)~17日(日)開催
【みどり みどり 町田】
【第6回 ゆうゆう 版画美術館まつり】
— 友達、集って。 —
友達、感動!
10月16日(土)~17日(日)開催
今年も芸術を通して人々の交流の輪を広げることを目的に、国際版画美術館と同館友の会が共催しておこないます。
【ゆうゆうトークショー】
演題「鎮魂のかたち」
講演者 三橋國民氏(造形作家・町田市在住)
芸術の素晴らしさ、人の生きる上での芸術の必要性、84歳を超えてなお創作意欲の旺盛な源泉は何かを知ることは、聞く者にとって今後の人生にきっと役立つことではないでしょうか。
日時 10月16日(土)午後3時開演(午後2時30分開場)
会場 同館講堂(入場無料) 定員 200人(抽選)